

2 男女の役割分担について

2-1 男女の役割意識

問3 次に掲げる考え方について、あなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

【全体】

3つの項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定の考え方については、『性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい』『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』ともに89.2%とほとんどの人が肯定的な立場になっています。一方、『男は仕事、女は家庭』という考え方を肯定している人は32.3%と最も少なくなっています。

【性別】

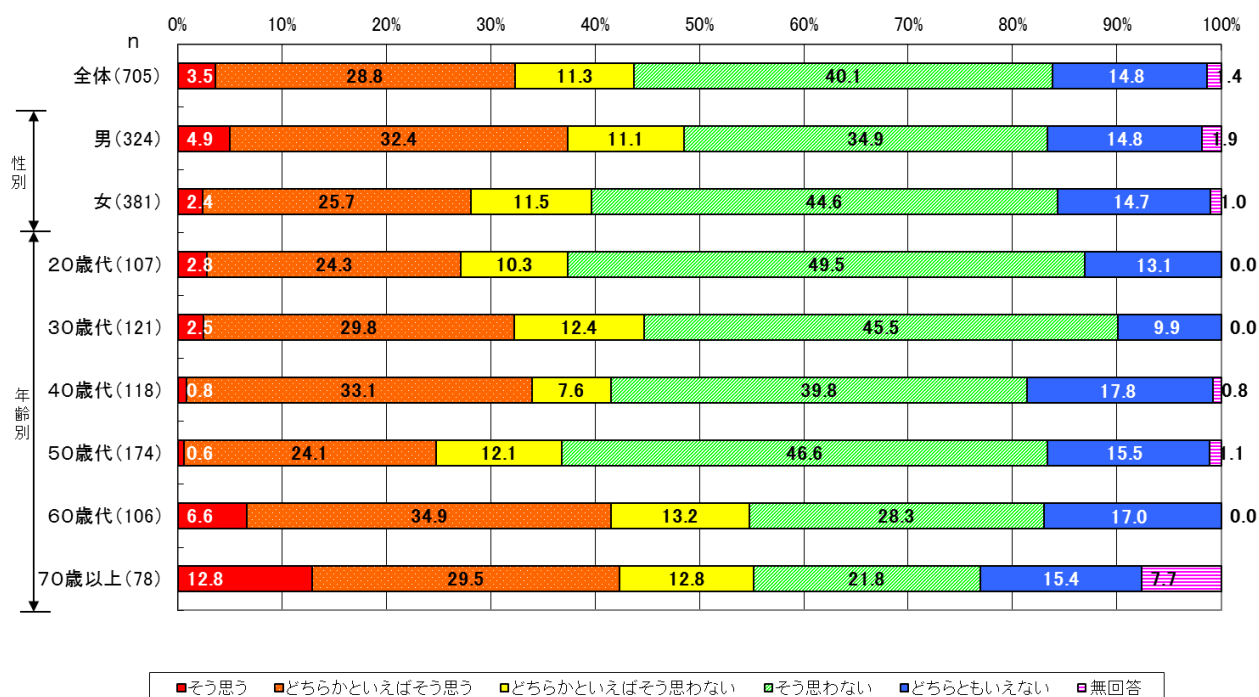
男女とも『性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい』や『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方については、肯定的な立場の方が多くなっています。『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した男性回答者の割合が84.9%と8割強であるのに対し、女性回答者の割合が92.9%と9割を超えており、女性回答者は男性回答者よりもこの考え方に肯定的であると考えられます。

【年齢別】

いずれの年齢層でも『性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい』や『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方については、ほとんどの人が肯定的な立場にあります。『男は仕事、女は家庭』という考え方については、60歳代及び70歳以上の高い年齢層とそれより若い年齢層とで、回答内容に差が見られます。

『男は仕事、女は家庭』を見ると、20歳代から50歳代まで否定的な考え方が肯定的な考え方を上回っているのに対し、60歳代では両者同数、70歳代では肯定的な考え方のほうが上回っています。したがって、年齢層が高いほどこの考え方に肯定的な人が多いと考えられます。

1. 男は仕事、女は家庭



【全体】

「そう思う」(3.5%)「どちらかといえばそう思う」(28.8%)を合わせた肯定的な考え方の人の割合が32.3%であるのに対し、「どちらかといえばそう思わない」(11.3%)「そう思わない」(40.1%)を合わせた否定的な考え方の人の割合は51.4%となっています。『男は仕事、女は家庭』という考え方に肯定的な人の割合より否定的な人の割合のほうが19.1ポイント高くなっています。

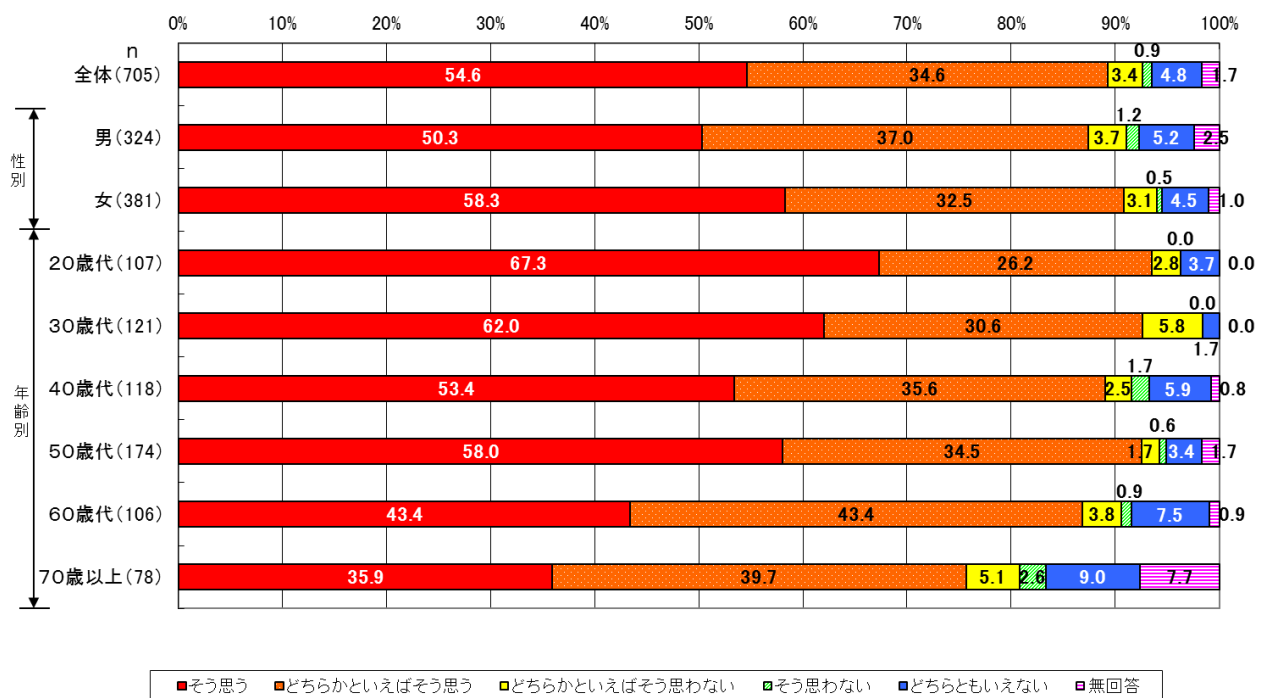
【性別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性回答者が37.3%と4割弱、女性回答者が28.1%と3割弱となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、男性回答者が46.0%と5割弱、女性回答者が56.1%と5割を超えており、女性回答者は男性回答者よりも否定的な考えである傾向にあります。

【年齢別】

20歳代から50歳代にかけて「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定的な考え方の人の割合が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方の人の割合を上回っているのに対し、60歳代では肯定的な考え方の人の割合が41.5%、否定的な考え方の人の割合が41.5%で同数、70歳以上では肯定的な考え方の人の割合が42.3%、否定的な考え方の人の割合が34.6%で、肯定的な考え方の人の割合が否定的な考え方の人の割合を7.7ポイント上回っています。

2. 性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい



【全体】

「そう思う」(54.6%)、「どちらかといえばそう思う」(34.6%)を合わせた肯定的な考え方の人の割合が89.2%と約9割であるのに対し、「そう思わない」(0.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(3.4%)を合わせた否定的な考え方の人の割合は4.3%となっています。『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方には、肯定的な考え方の人の割合が否定的な考え方の人の割合を大きく上回っています。

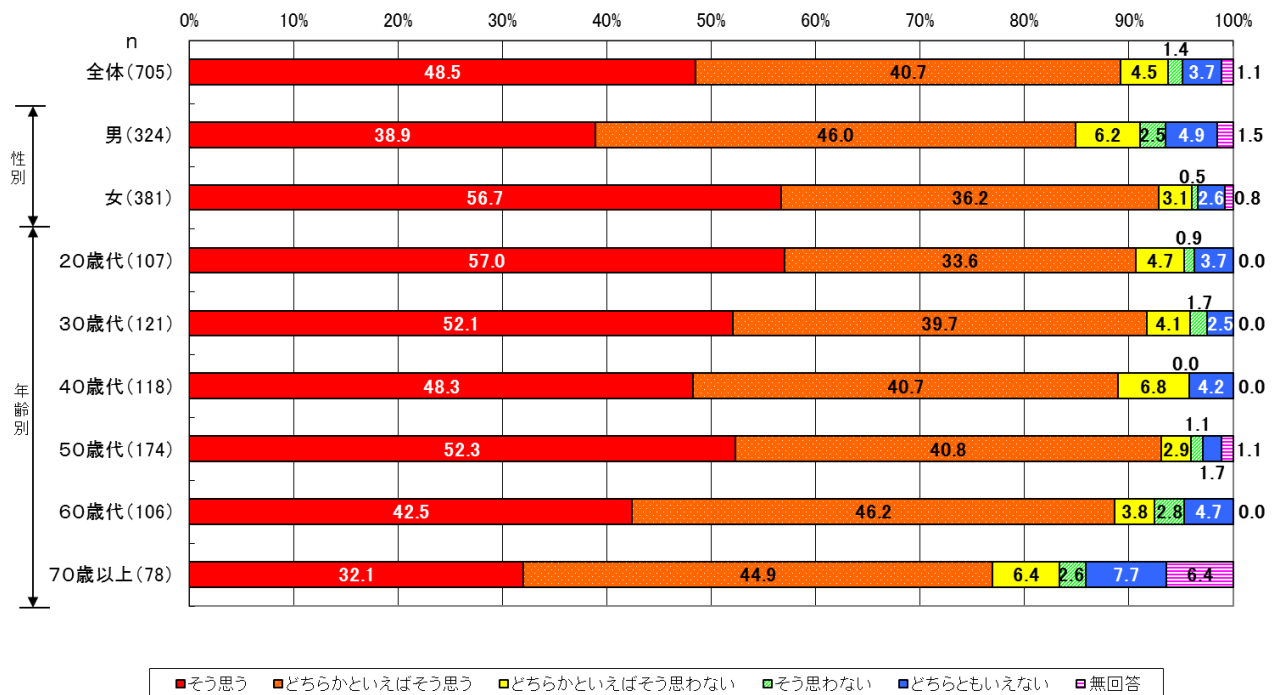
【性別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方の人の割合は、男性回答者は87.3%、女性回答者は90.8%と、『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方には男性も女性もほとんどの人が肯定の立場にあります。

【年齢別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代で93.5%と最も高く、次いで30歳代で92.6%、最も低い70歳以上でも75.6%と7割以上を占めており、すべての年齢層において『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方に肯定的な立場の人が多くなっています。

3. 性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である



【全体】

「そう思う」(48.5%)「どちらかといえばそう思う」(40.7%)を合わせた肯定的な考え方の人の割合が89.2%であるのに対し、「そう思わない」(1.4%)「どちらかといえばそう思わない」(4.5%)を合わせた否定的な考え方の人の割合は5.9%と、『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方にはほとんどの人が肯定の立場にあります。

【性別】

男女とも、『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方について肯定的な人が多くなっています。男性は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた男性回答者の割合は84.9%と8割強、女性回答者の割合は92.9%と9割を超えており、女性回答者は男性回答者よりも肯定的な考え方の人の割合が高くなっています。

【年齢別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代で93.1%と最も高く、次いで30歳代で91.8%と約9割を占め、最も低い70歳以上でも77.0%と約8割を占めています。したがって、すべての年齢層において『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方にはほとんどの人が肯定の立場にあります。

〔前回調査（平成20年）との比較〕

1. 男は仕事、女は家庭

	そう 思う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	い ど え ち な い と も	無 回 答
H20	7.0	27.6	11.0	34.9	14.8	4.7
H26	3.5	28.8	11.3	40.1	14.8	1.4

「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると平成20年（45.9%）よりも平成26年（51.4%）は5.5ポイント増加しており、『男は仕事、女は家庭』という考え方に否定的な人が増えました。

2. 性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい

	そう 思う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	い ど え ち な い と も	無 回 答
H20	60.2	25.0	2.3	2.6	5.2	4.7
H26	54.6	34.6	3.4	0.9	4.8	1.7

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると平成20年（85.2%）よりも平成26年（89.2%）は4.0ポイント増加しており、『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方に肯定的な人が増えました。

3. 性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である

	そう 思う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	い ど え ち な い と も	無 回 答
H20	55.5	28.5	3.5	4.4	3.2	4.9
H26	48.5	40.7	4.5	1.4	3.7	1.1

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると平成20年（84.0%）よりも平成26年（89.2%）は5.2ポイント増加しており、『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方に肯定的な人が増えました。

2-2 家庭における役割分担

問4-1 問4で「2」と回答した方のみお答えください。あなたの家庭では、次の項目について、どなたの役割になっていますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

【全体】

「主に妻」が行う割合は、『食事のしたく』（85.6%）が最も高く、次いで『洗濯』（83.7%）となっており、いずれも8割を超えています。『地域活動への参加』以外の10項目で「主に妻」が行う割合が「主に夫」が行う割合を上回っており、女性に家事の負担が偏っている傾向にあります。

「主に夫」が行う割合は、『地域活動への参加』（37.2%）が最も高く、次いで『ごみ出し』（30.5%）となっています。

「家族で分担」して行う割合は、『地域活動への参加』（37.2%）が最も高く、次いで『食料品・日用品の買い物』（29.6%）となっています。

「その他の人（男性）」が行う割合は、『ごみ出し』（3.6%）が最も高く、次いで『地域活動への参加』（3.4%）となっています。

「その他の人（女性）」が行う割合は、『食事のしたく』（4.0%）が最も高く、次いで『ごみ出し』（3.6%）となっています。

【性別】

「主に夫」と回答した割合は、『乳幼児の世話』以外の10項目で女性回答者よりも男性回答者のほうが高くなっています。

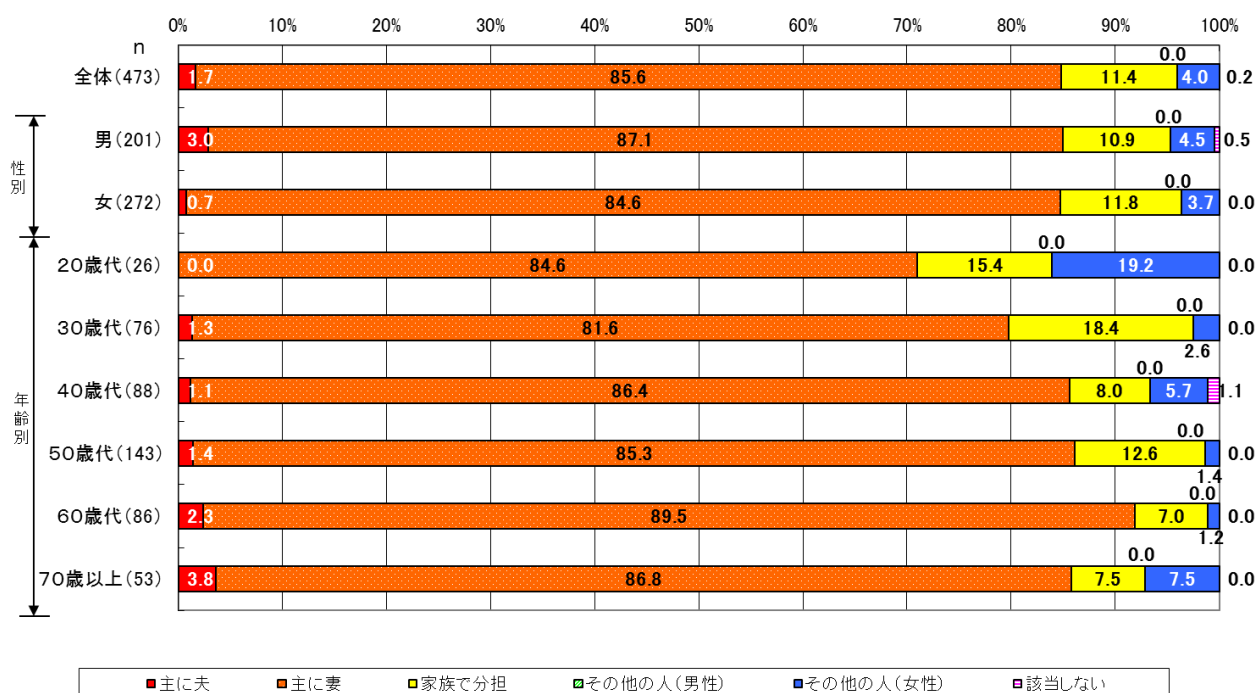
「主に妻」と回答した割合は、『食事のしたく』以外の10項目で男性回答者よりも女性回答者のほうが高くなっています。

【年齢別】

20歳代では、その他の年齢層と比べ「その他の人（女性）」が行うと回答した割合が高い傾向にあります。

20歳代では、「家族で分担」としていると回答した割合が『食事の後片付け』『掃除』『洗濯』『ごみ出し』『食料品・日用品の買い物』『乳幼児の世話』の6項目で、他の年齢層よりも高くなっています。

1. 食事のしたく



【全体】

「主に妻」と回答した割合が 85.6%と最も高く、次いで「家族で分担」と回答した割合が 11.4%となっています。

「主に妻」と回答した割合については、11項目の中で最も高くなっています。

【性別】

男女とも「主に妻」と回答した割合が最も高く、男性回答者が 87.1%、女性回答者が 84.6%となっています。

【年齢別】

いずれの年齢層でも「主に妻」が行うと回答した割合が 8 割以上を占めています。「その他の人(女性)」が行うと回答した割合は 20 歳代で 19.2%と他の年齢層よりも高くなっています。

「家族で分担」する割合は、30 歳代で最も高く 18.4%、次いで 20 歳代で 15.4%となっています。

2. 食事の後片付け



【全体】

「主に妻」と回答した割合が75.1%と最も高く、次いで「家族で分担」と回答した割合が22.2%となっています。『食事のしたく』に比べ、『食事の後片付け』は、「家族で分担」する割合が高くなっています。

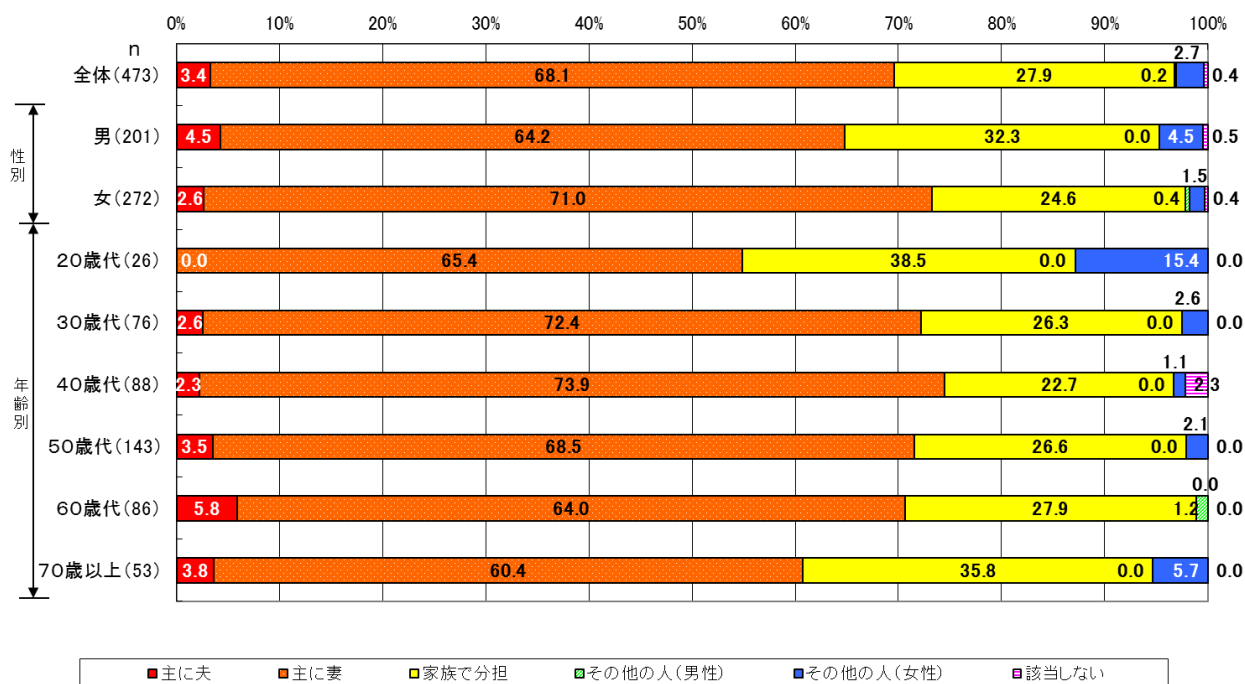
【性別】

男女とも「主に妻」と回答した割合が最も高く、男性回答者が69.7%、女性回答者が79.0%となっています。「主に夫」と回答した割合は、女性回答者が2.6%であるのに対し、男性回答者は4.5%で女性回答者よりも男性回答者のほうが高くなっています。

【年齢別】

「家族で分担」と回答した割合は20歳代で42.3%と最も高く、次いで30歳代で27.6%となっており、若い年齢層で家族で分担している割合が高い傾向にあります。

3. 掃除



【全体】

「主に妻」と回答した割合が68.1%と最も高く、次いで「家族で分担」と回答した割合が27.9%となっています。

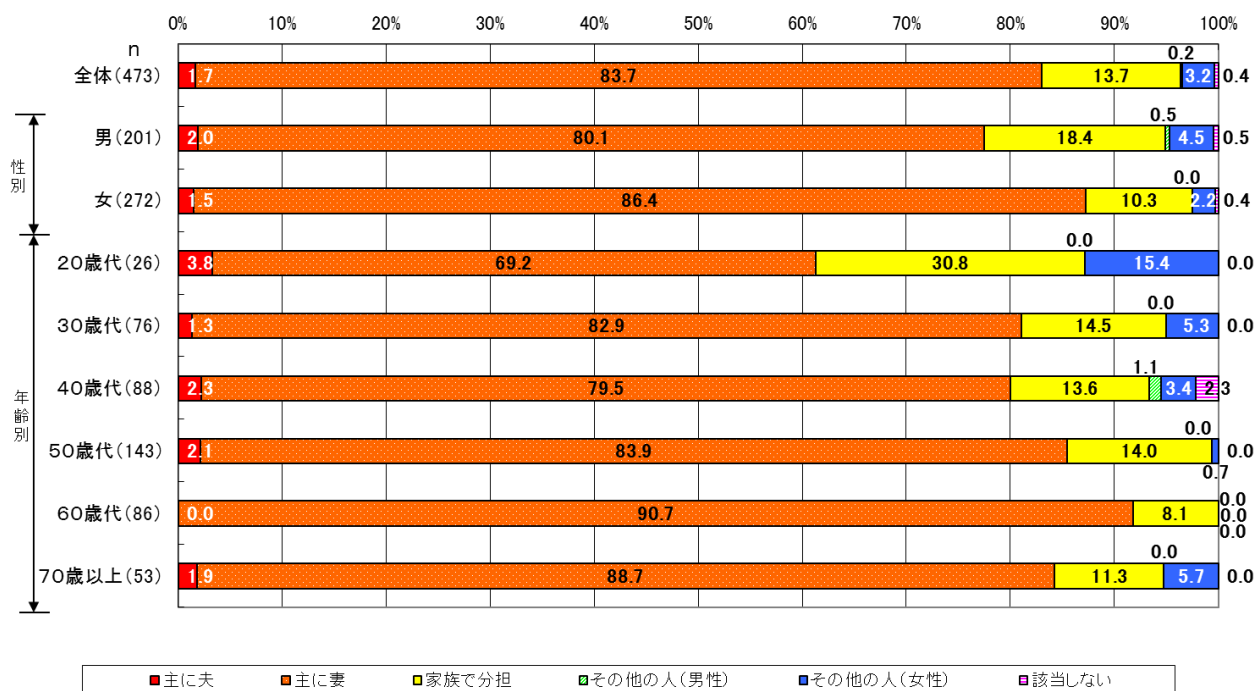
【性別】

男女とも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高く、男性回答者が64.2%、女性回答者が71.0%となっています。

【年齢別】

いずれの年齢層でも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高く、6割を超えています。次いで「家族で分担」と回答した割合が高く、いずれの年齢層でも2割以上を占めています。

4. 洗濯



【全体】

「主に妻」と回答した割合が 83.7%で最も高く、8 割を超えています。次いで「家族で分担」と回答した割合が 13.7%、「その他の人（女性）」と回答した割合が 3.2%となっています。

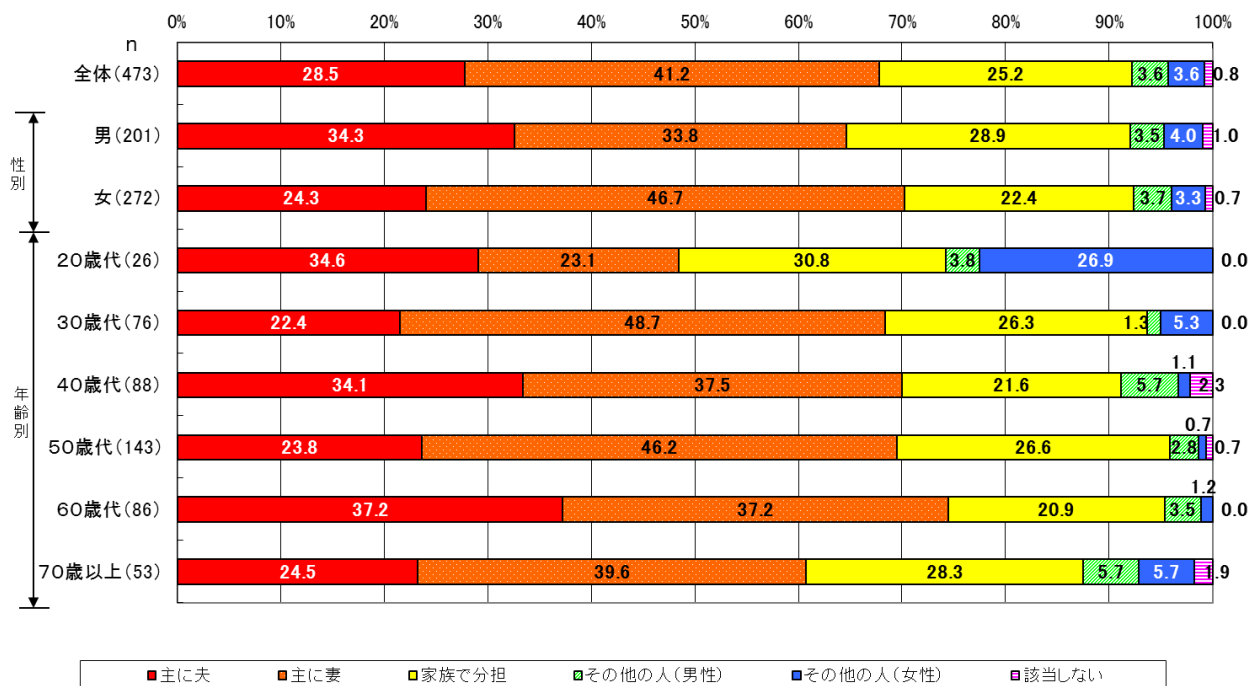
【性別】

男女とも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高く、男性回答者が 80.1%、女性回答者が 86.4%となっています。「家族で分担」と回答した割合は、女性回答者が 10.3%であるのに対し、男性回答者は 18.4%で女性回答者よりも男性回答者のほうが高くなっています。

【年齢別】

いずれの年齢層でも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高く、6 割を超えています。「家族で分担」と回答した割合は、20 歳代で 30.8%と他の年齢層よりも高くなっています。

5. ごみ出し



【全体】

「主に妻」と回答した割合が41.2%で最も高く、次いで「主に夫」と回答した割合が28.5%、「家族で分担」と回答した割合が25.2%となっています。「主に夫」と回答した割合は、他の項目よりも高くなっています。

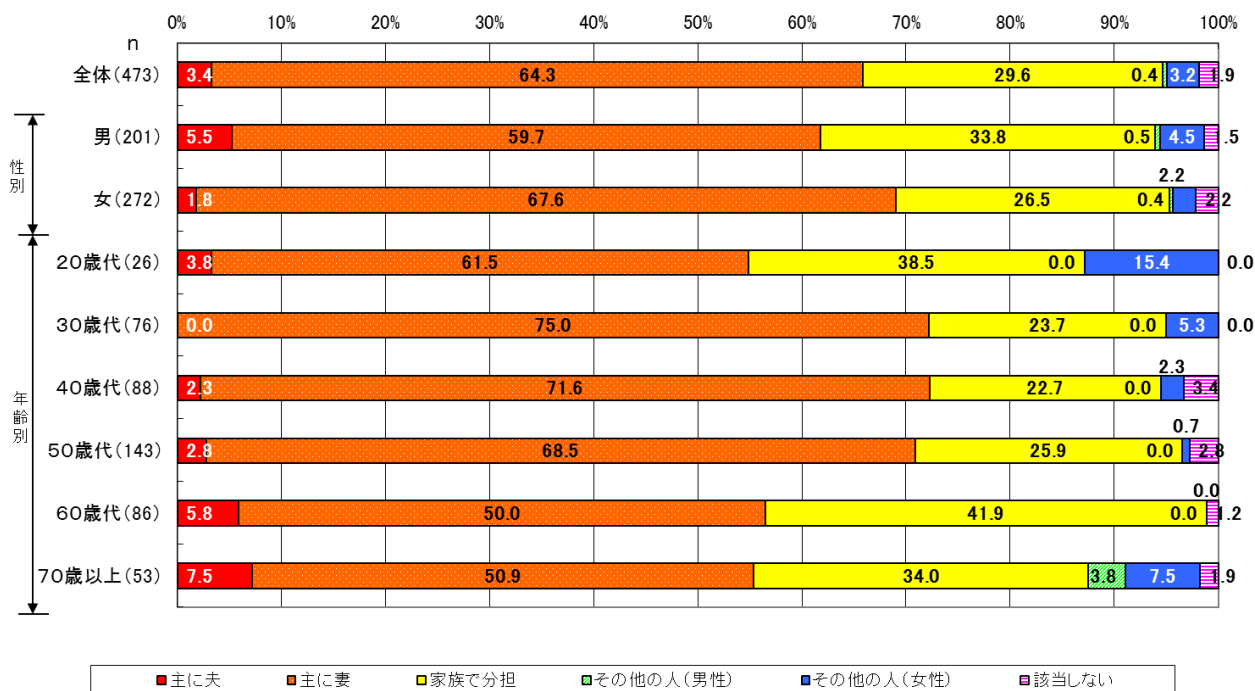
【性別】

男性回答者は、「主に夫」と回答した割合が最も高く34.3%、次いで「主に妻」と回答した割合が33.8%となっています。女性回答者は、「主に妻」と回答した割合が最も高く46.7%、次いで「主に夫」と回答した割合が24.3%となっています。

【年齢別】

30歳代以上では「主に妻」と回答した割合が、「主に夫」と回答した割合と同数もしくはそれ以上であるのに対し、20歳代では「主に夫」(34.6%)と回答した割合が、「主に妻」(23.1%)と回答した割合を上回っています。

6. 食料品・日用品の買い物



【全体】

「主に妻」と回答した割合が 64.3%で最も高く、次いで「家族で分担」と回答した割合が 29.6%となっています。

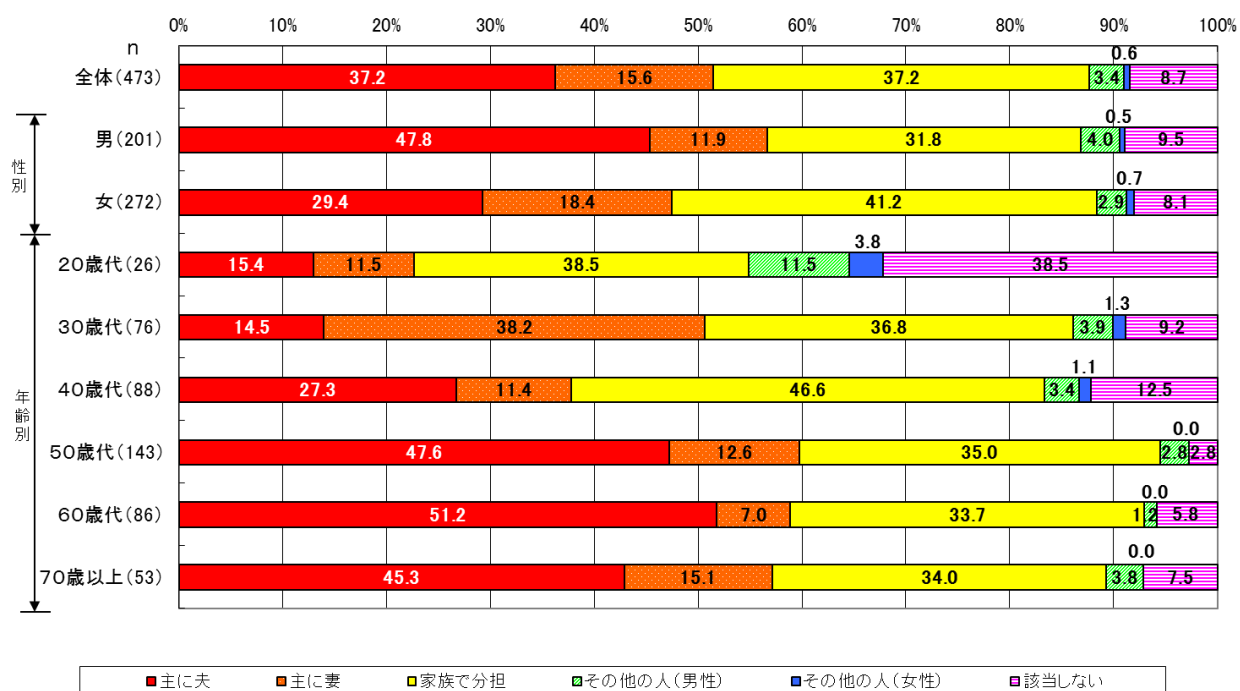
【性別】

男女とも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高く、男性回答者が 59.7%、女性回答者が 67.6%となっています。「家族で分担」と回答した割合は、女性回答者が 26.5%であるのに対し、男性回答者は 33.8%で女性回答者よりも男性回答者のほうが高くなっています。

【年齢別】

いずれの年齢層でも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高く、5割を超えています。「家族で分担」と回答した割合は、60歳代で最も高く 41.9%、次いで 20歳代で 38.5%となっています。

7. 地域活動への参加



【全体】

「主に夫」「家族で分担」と回答した割合が同数（37.2%）と4割弱で最も高くなっています。

「主に夫」と回答した割合は、11項目の中で最も高くなっています。

【性別】

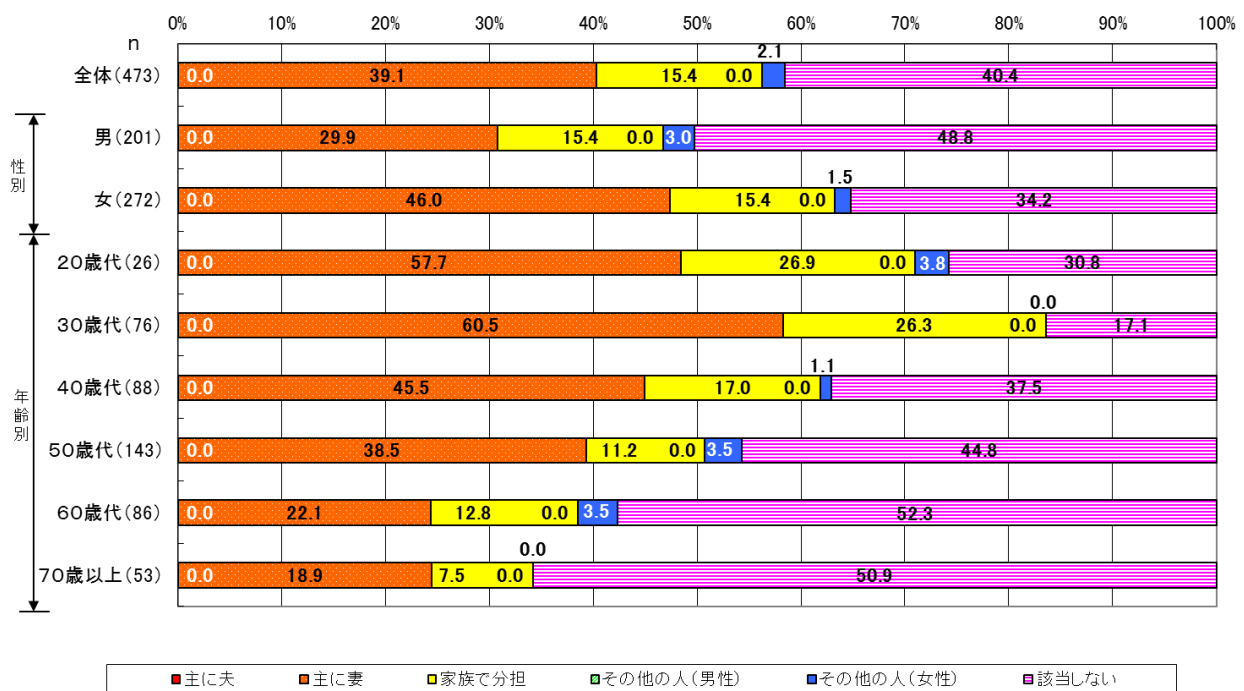
男性回答者では、「主に夫」と回答した割合が最も高く47.8%、次いで「家族で分担」と回答した割合が31.8%となっています。女性回答者では、「家族で分担」と回答した割合が最も高く41.2%、次いで「主に夫」と回答した割合が29.4%となっています。

【年齢別】

50歳以上では「主に夫」が行うと回答した割合が、4割を超えているのに対し、20歳代から40歳代にかけては1割から3割程度となっており、40歳代以下では年齢が高くなるにしたがって、「主に夫」が行うと回答した割合が高くなっています。

「家族で分担」と回答した割合が最も高いのは40歳代で46.6%、最も低いのは60歳代で33.7%となっており、いずれの年齢層でも3割を超えています。

8. 乳幼児の世話



【全体】

「該当しない」と回答した割合が 40.4%と約 5 割を占め、最も高くなっています。

「主に妻」と回答した割合は、39.1%であるのに対し、「主に夫」と回答した割合は、0.0%となっています。

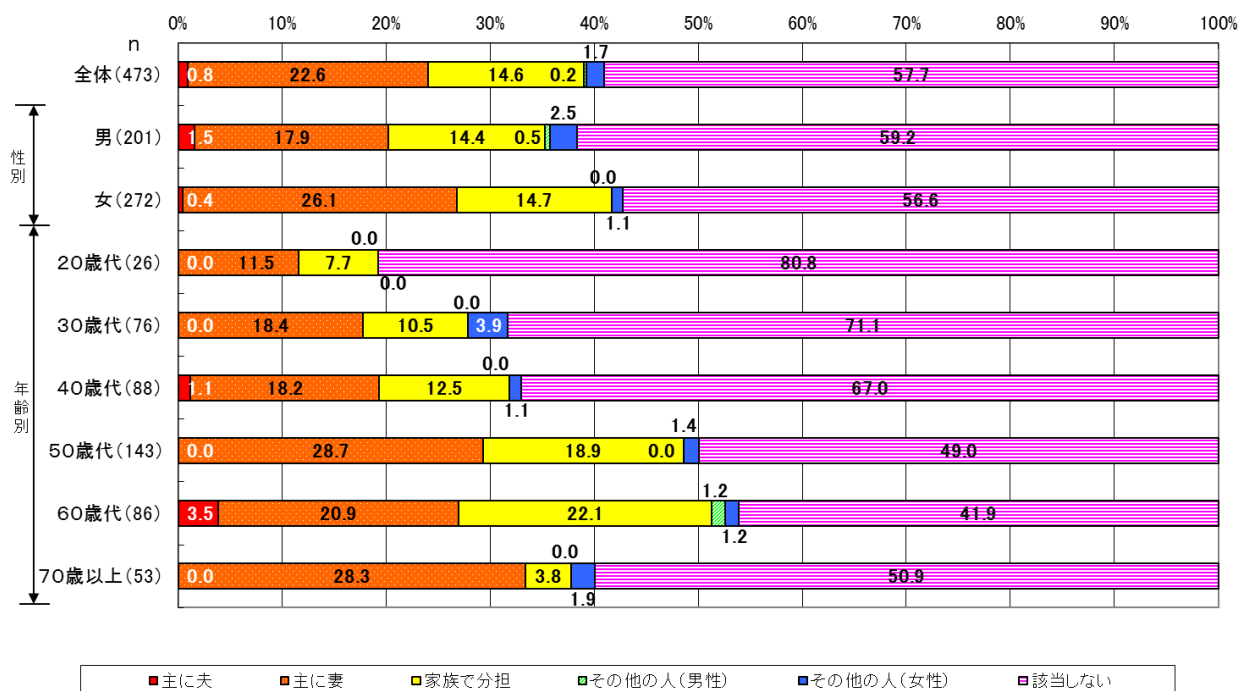
【性別】

「主に妻」が行うと回答した割合は、男性回答者が 29.9%と約 3 割、女性回答者が 46.0%と 4 割を超えているのに対し、「主に夫」が行うと回答した割合は、男女とも 0.0%で、女性に子育ての負担が偏っていると考えられます。

【年齢別】

「主に妻」が行うと回答した割合は、30 歳代で最も高く 60.5%、次いで 20 歳代で 57.7%となっています。「該当しない」と回答した割合は、30 歳代で最も低く 17.1%、次いで 20 歳代で 30.8%となっており、40 歳代以上では年齢が高くなるにしたがって、その割合が高くなっています。

9. 家族の介護



【全体】

「該当しない」と回答した割合が 57.7%と 6 割弱を占め最も高くなっており、次いで「主に妻」と回答した割合が 22.6%となっています。

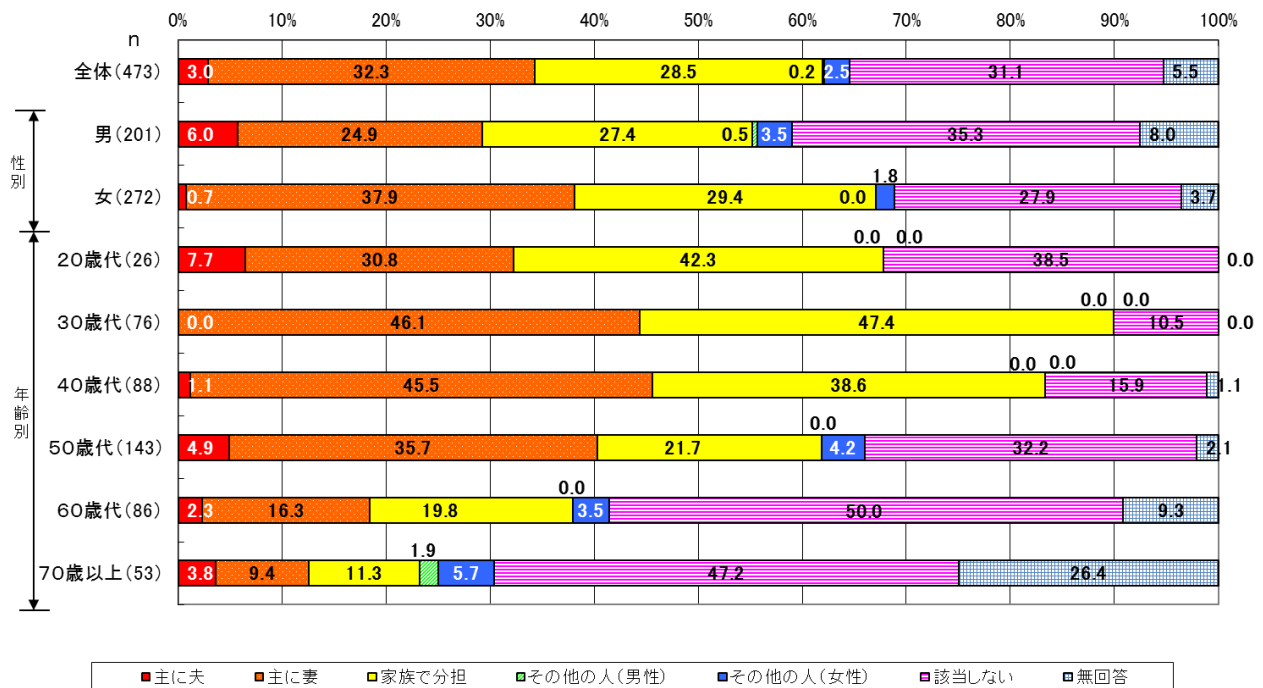
【性別】

男女とも「主に妻」が行うと回答した割合が最も高くなっており、女性に介護の負担が偏っていると考えられます。また、「主に妻」が行うと回答した割合は、男性回答者が 17.9%、女性回答者が 26.1%となっており、男性回答者よりも女性回答者のほうが高くなっています。

【年齢別】

いずれの年齢層でも「該当しない」と回答した割合が最も高くなっていますが、50 歳以上では「主に妻」が行うと回答した割合が、2 割を超えています。また、60 歳代では、「主に夫」と回答した割合が 3.5%で、家族を介護している高齢の男性がいることが推察されます。

10. 子どもの勉強やしつけ



【全体】

「主に妻」と回答した割合が最も高く 32.3%、次いで「該当しない」と回答した割合が 31.1%、「家族で分担」と回答した割合が 28.5%となっています。

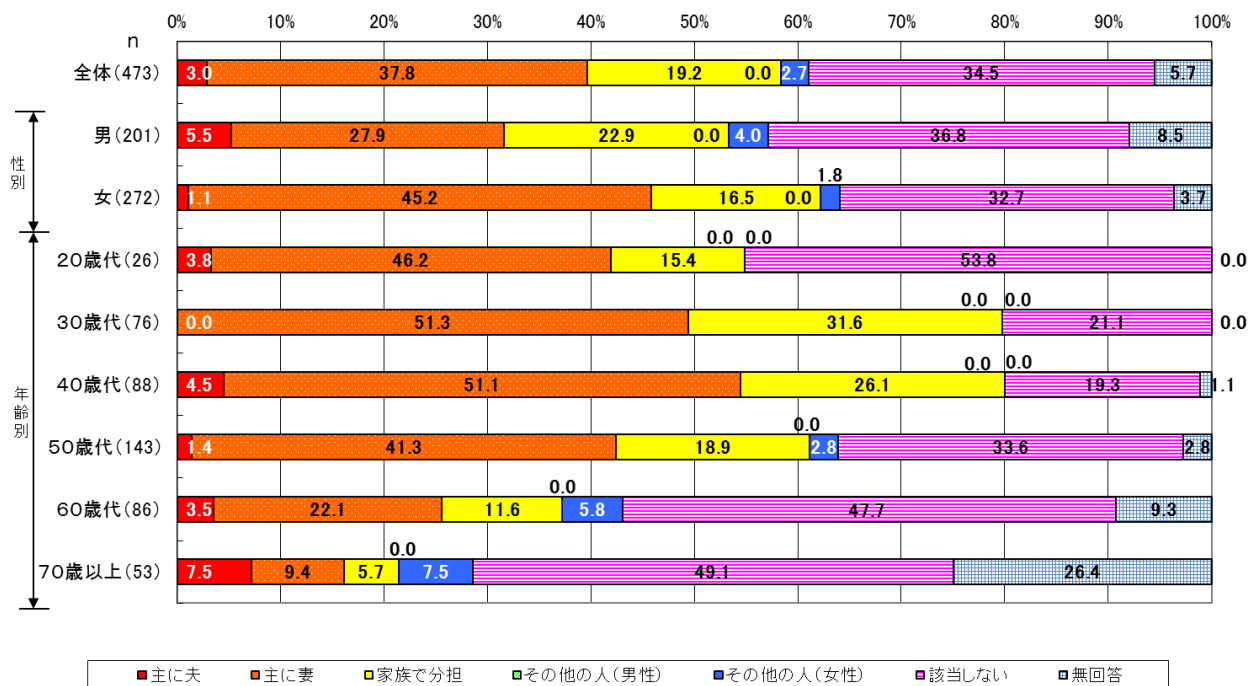
【性別】

「主に夫」と回答した割合は、男性回答者が 6.0%、女性回答者が 0.7%となっており、女性回答者よりも男性回答者のほうが高くなっています。それに対し、「主に妻」が行うと回答した割合は、男性回答者が 24.9%、女性回答者が 37.9%となっており、男性回答者よりも女性回答者のほうが高くなっています。

【年齢別】

「主に夫」が行うと回答した割合は、50歳代で最も高く 4.9%、次いで 70歳以上で 3.8%となっています。「家族で分担」と回答した割合は、30歳代で最も高く 47.4%、次いで 20歳代で 42.3%と若い年齢層で子育てを分担して行っていることが推察されます。

11. 学校行事への参加



【全体】

「主に妻」と回答した割合が最も多く 37.8%、次いで「該当しない」と回答した割合が 34.5% となっています。

【性別】

「主に夫」と回答した割合は、男性回答者が 5.5% であるのに対し、女性回答者が 1.1% となっています。「主に妻」と回答した割合は、男性回答者が 27.9% であるのに対し、女性回答者は 45.2% となっています。男女とも「主に妻」と回答した割合が、「主に夫」と回答した割合よりも高くなっています。

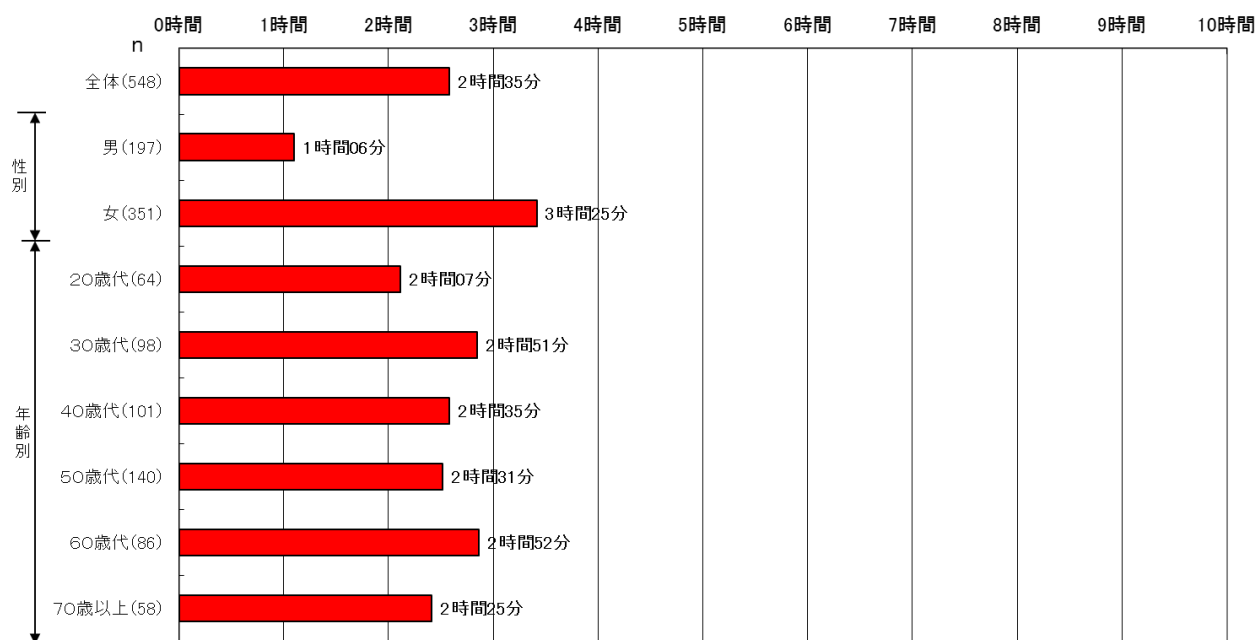
【年齢別】

「家族で分担」と回答した割合は、30 歳代で最も高く 31.6%、次いで 40 歳代で 26.1% となっています。30 歳代では、「主に妻」と回答した割合が 51.3% であるのに対し、「主に夫」と回答した割合が 0.0% となっています。

2-3 平日における家事・育児・介護・仕事・趣味の時間

問5 平日、次のことに使う時間はどれくらいですか。____に時間をご記入ください。

1. 家事の時間



【全体】

平日 1 日当たりの平均時間は 2 時間 35 分となっています。

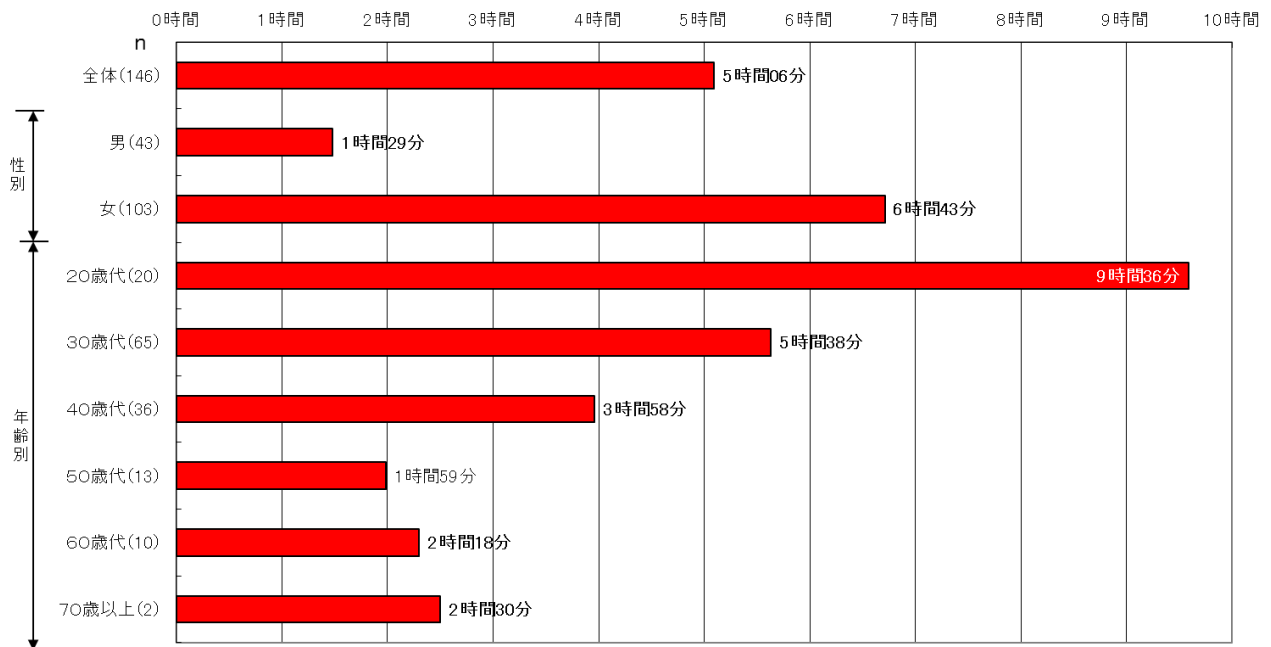
【性別】

女性回答者の平均時間が 3 時間 25 分であるのに対し、男性回答者の平均時間は 1 時間 6 分で、女性回答者の約 3 分の 1 の時間となっています。

【年齢別】

60 歳代が 2 時間 52 分と最も長く、次いで 30 歳代が 2 時間 51 分となっており、20 歳代が 2 時間 7 分と最も短くなっています。家事の時間は、いずれの年齢層でも 2 時間を超えています。

2. 育児の時間



【全体】

平日 1 日当たりの平均時間は 5 時間 6 分となっています。

【性別】

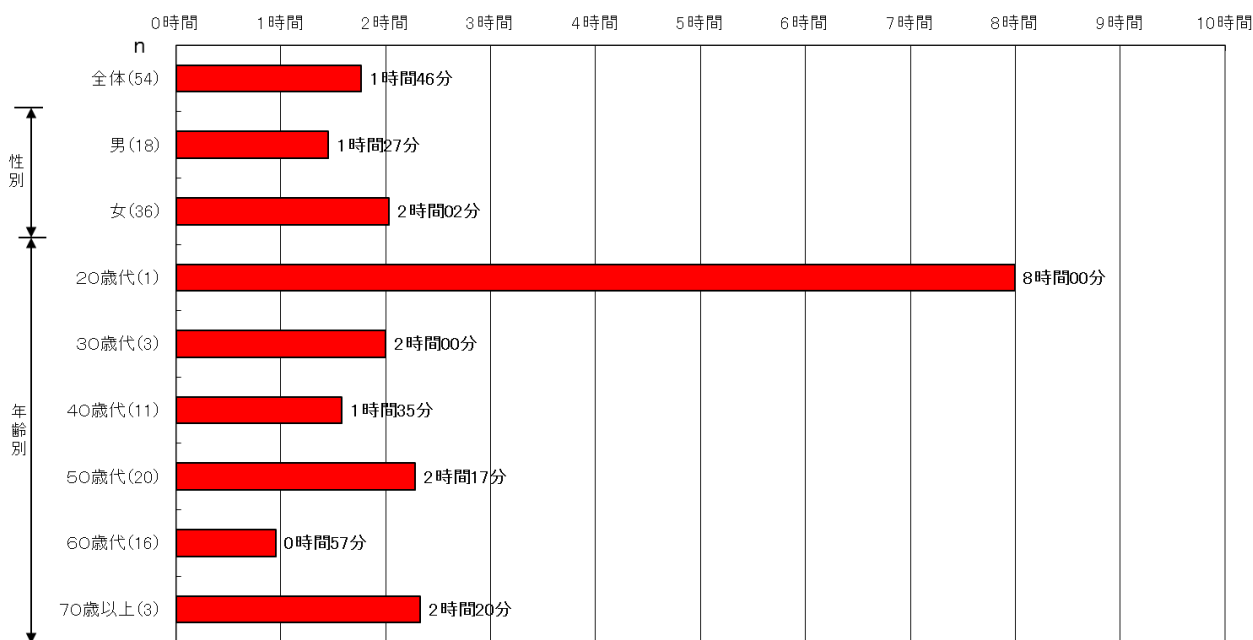
女性回答者の平均時間が 6 時間 43 分であるのに対し、男性回答者の平均時間は 1 時間 29 分で、女性回答者の 3 分の 1 以下の時間となっています。

したがって、女性に子育ての負担が偏っていると考えられます。

【年齢別】

20 歳代が 9 時間 36 分と最も長く、次いで 30 歳代が 5 時間 38 分となっており、50 歳代が 1 時間 59 分と最も短くなっています。

3. 介護の時間



【全体】

平日 1 日当たりの平均時間は 1 時間 46 分となっています。

【性別】

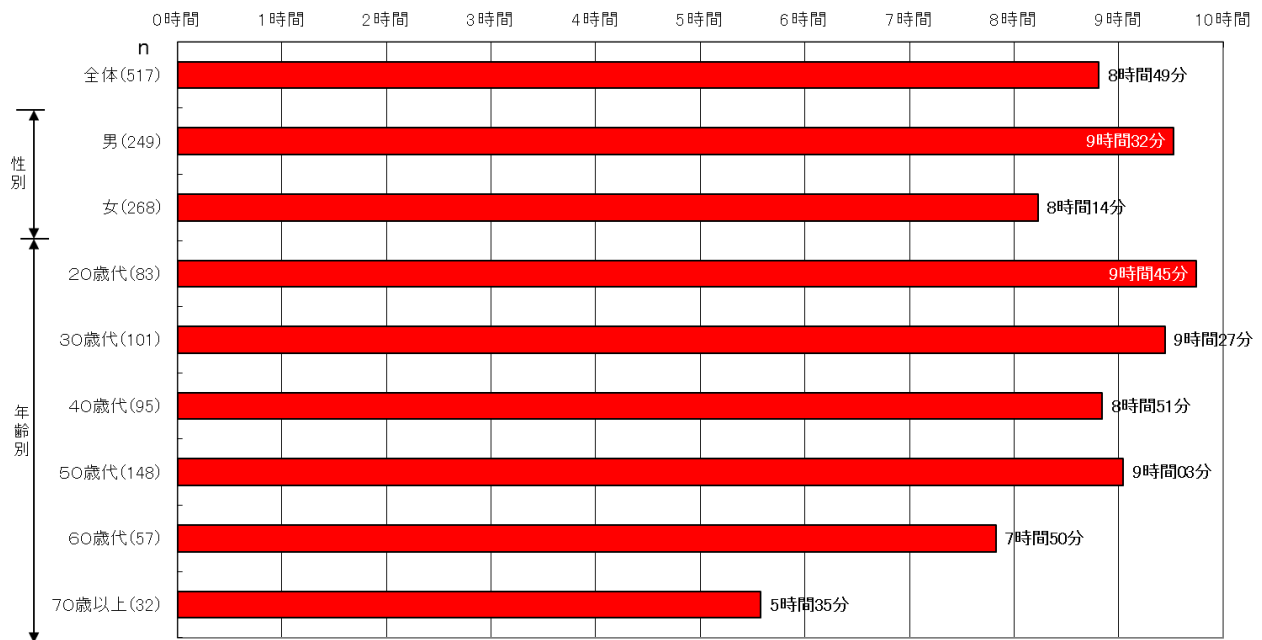
女性回答者の平均時間が 2 時間 2 分であるのに対し、男性回答者の平均時間は 1 時間 27 分で、女性回答者のほうが長くなっているものの、男性回答者も介護をする時間があると回答しており、男女に関わらず、介護の負担を負っています。

【年齢別】

60 歳代が 57 分と最も短く、約 1 時間となっており、その他の年齢層では介護をする時間が 1 時間以上あると回答しています。70 歳以上が 2 時間 20 分、50 歳代が 2 時間 17 分と、2 時間を超えています。

※20 歳代は 8 時間と最も長い時間ですが、回答者が 1 名でサンプル数が少ないため、表以外は除いて記載しています。

4. 仕事の時間（通勤時間を含む）



【全体】

平日 1 日当たりの平均時間は 8 時間 49 分となっています。

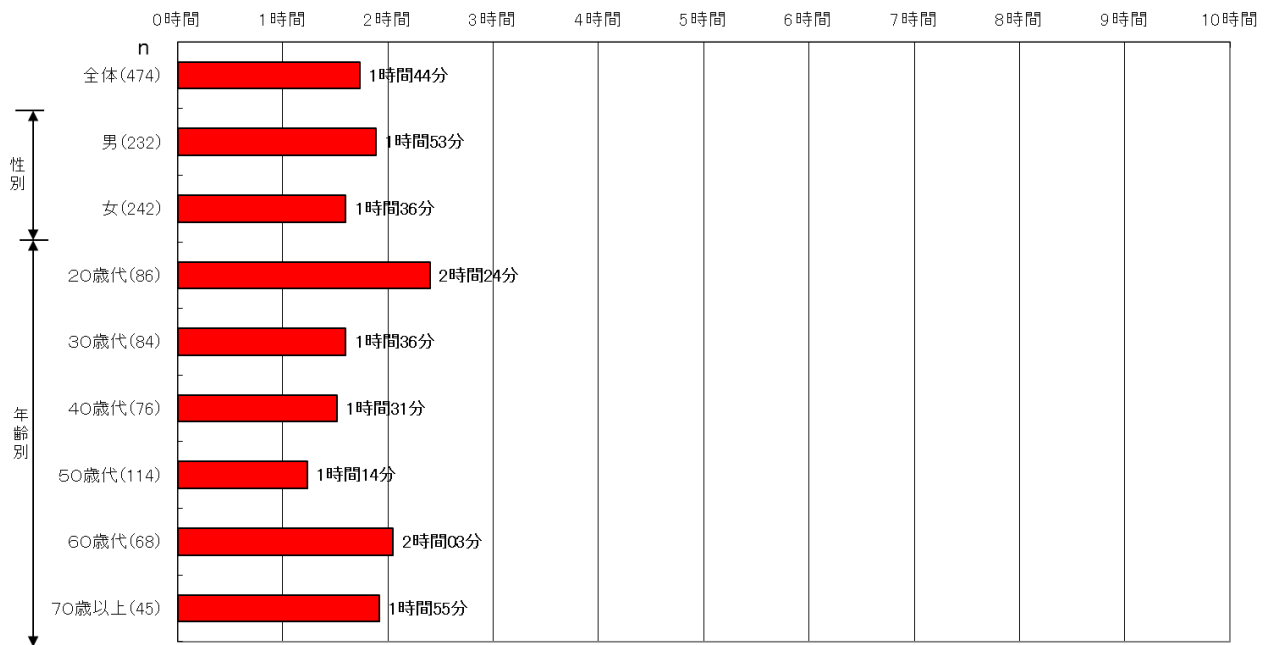
【性別】

男性回答者の平均時間が 9 時間 32 分、女性回答者の平均時間が 8 時間 14 分となっており、仕事の時間は女性回答者よりも男性回答者のほうが 1 時間 18 分長くなっています。

【年齢別】

20 歳代が 9 時間 45 分と最も長く、次いで 30 歳代が 9 時間 27 分となっています。なお、70 歳以上における仕事の時間も 5 時間 35 分ほどあり、年齢層を考慮すると長くなっていると思われます。

5. 趣味の時間



【全体】

平日 1 日当たりの平均時間は 1 時間 44 分となっています。

【性別】

男性回答者の平均時間が 1 時間 53 分、女性回答者の平均時間が 1 時間 36 分となっており、趣味の時間は女性回答者よりも男性回答者のうほうが 17 分長くなっています。

【年齢別】

20 歳代が 2 時間 24 分と最も長く、次いで 60 歳代が 2 時間 3 分となっており、50 歳代が 1 時間 14 分と最も短くなっています。